

消費生活相談 の現場から

探偵がアダルトサイトの 被害を救済します!?

<事例>

アダルトサイトに接続した際、「18歳以上ですか?」という画面の「はい」のボタンをクリックしたところ、いきなり9万9千500円の請求を受けた。退会しようとしたところ、電話番号に連絡すると、名前と住所を聞かれ、「支払わないと退会できない」と言われた。

このアダルトサイトをネットで検索すると、不当請求サイトであると書かれていたので、何とか支払わずに済む方法を調べていたところ、「アダルトサイトの被害を救済します」というサイトを見つけた。

そのサイトに問い合わせたところ、「アダルトサイトの弱みを握っているのだから、あなたの個人情報削除し、請求を止めることができる」と説明された。即日契約し、料金は支払い済みだが、本当に個人情報削除されるのか心配である。

<アドバイス>

「アダルトサイトに接続し、不当な請求を受けた」という相談は非常に多く、後を絶ちませ



ん。事例の被害救済をうたう事業者は探偵業者であり、「返金請求」や「解約交渉」などを行うことは、「探偵業法」において認められているものではなく、弁護士法にも違反する行為です。そもそも事例のようなアダルトサイトからの請求は、ワンクリック請求と呼ばれる不当請求であり、対処する必要はありません。

探偵業者の説明を鵜呑みにせず、料金を支払う前に、消費生活センターに相談しましょう。

問合せ 消費生活センター ☎ 495・6212 (相談専用)

きよせ 地元学

清瀬の風俗や郷土文化、伝統などを写真やイラストとともに紹介します。

キヨセ ケヤキロードギャラリー作品紹介その3

空模様が不安定な季節ですが、雨上がりには市内各地から嬉しそうなる鳥のさえずりが聴こえてきます。今回は、キヨセ ケヤキロードギャラリーに佇む「鳥」をご紹介します。

問合せ 郷土博物館 ☎ 493・8585

①「梟月夜」 1984年制作・本小松石 / 作者は石彫による幾分様式化した「梟」シリーズを制作しています。

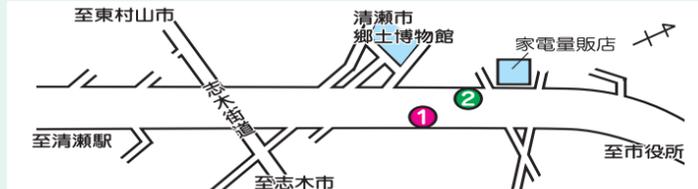


【作者紹介】

手塚登久夫 (1938～)

東京藝術大学彫刻科大学院を修了。優れた作品として修了作品を大学が買い上げ。第1回東京野外現代彫刻展など権威ある展覧会に多くの彫刻を出品している。東京藝術大学名誉教授。

作品配置場所



②「道標・鳩」 1972、74年制作・ブロンズ / 鳩や鴉をテーマとした「道標」シリーズに独自の詩情をうかがうことができます。

【作者紹介】

柳原義達 (1910～2004)

東京美術学校彫刻科を卒業。新制作派協会彫刻部の創立に参加。第1回高村光太郎賞、第5回中原悌二郎賞などを受賞。内外の主要美術展に出品し、各地で大規模な回顧展を開催した。

地域の“チカラ” の向上プロジェクト

七小円卓会議では、地域と清瀬高校が連携した防災イベント「七小円卓防災フェア in 清瀬高校」を開催します。

清瀬高校では、おとしより「防災宿泊訓練」を行っており、七小円卓会議においても4年前から防災イベントを開催しています。今年の内容は、防災パネル展示や援助物資が行き届くまでに必要とされる3日分の食糧展示などに加え、生徒の防災合宿訓練の様子を見学するというものです。

合宿訓練のなかには防災地図の作製もあり、その下調べとして、事前に六小地区自治会連合会と三小円卓会議のメンバーに協力してもらいながら5月と6月に2回、一緒に地域の「まち歩き」を行いました。この取り組みは防災地図を作製する目的もありますが、同じ地域で生活している住民の皆さんと高校生の結び付きを強められたことにも意義があったと感じます。

このイベントをきっかけに防災への備えはもちろん、地域の連携も深めてみてはいかがでしょうか。

「いざという時に 地域の連携」



まち歩きを行う清瀬高校の生徒

◆七小円卓防災フェア in 清瀬高校

日時 7月18日(金)午後1時30分～

場所 清瀬高校(松山三丁目)

問合せ 七小円卓世話人・長縄 ☎ 080・3158・1004

次回の各校区の円卓会議は下記のとおりです。

六小円卓会議では、少人数家族や高齢の方が陥る食事の偏りを防ぎ、多くの野菜を無駄なく食べ、栄養バランスを保つ工夫を考える催しを行います。各円卓会議にもご参加ください。

問合せ 企画課市民協働係

円卓会議の開催日程

芝小・四小＝7月22日(火)午後2時～、四中会議室

三小＝7月16日(水)午後6時～、三小被服室

六小＝7月27日(日)正午～、信愛ふれあいホール(梅園二丁目)

七小＝7月12日(土)午前10時～、七小大会議室

※先月の七小円卓での開催時間に誤りがありました。ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

健康ナビ

熱中症に備えましょう!!

■熱中症を防ぐには

熱中症は高温多湿により、体温調節ができなくなる病気です。めまい・吐き気・おう吐・だるさなどの症状があり、命にかかわる場合もあります。

○暑さに負けないからだづくり
本格的に暑くなる前に、軽く汗ばむ程度の運動を行い、汗をかきやすく体温調節しやすいからだづくりをしましょう。ただし、気温が35度以上の時は外出を控えましょう。

○水分と塩分補給

汗は血液中の水分と塩分なので、失われた分を補給しないと熱中症にかかりやすくなります。のどが渇く前に、水分と塩分を補給しましょう。激しい発汗後は、スポーツドリンクが有効です。

○体調を整えましょう

体調が良くないときは活動を休止しましょう。夏バテ予防にたんぱく質や脂質を多く含む食品を摂り、体調を整え体力を維持しましょう。

○衣類の工夫

風通しの良い服装、日傘や帽子・サングラスで直射日光を避

けましょう。ぬれたバンドナを首に巻いたり、保冷剤を利用して体温を下げましょう。

○住まいの工夫

気温28度以上・湿度70%以上の時はエアコンを使い、同時に扇風機を回すと、設定温度が高めでも体感温度を下げるができます。また、公共施設で涼んだり、日中にシャワーを浴びることも効果的です。

■熱中症かなと思ったら

①涼しい場所へ移動②水分補給(自力で飲めない場合は医療機関へ)③体を冷やす(衣類に水をかける、風をあてる、冷やしたタオルや氷などで首・わきの下・足の付け根を冷やす)

■周囲の人へお願い

高齢者や子どもは体温調節がうまくできないため、熱中症が心配な暑い時期はご家族などの周囲の人の配慮が必要です。

問合せ 健康推進課

市では、熱中症の対策として、市内各公共施設を「一時避難所」として開放します。ルール・マナーを守ってご利用ください。※詳しくは、各公共施設へお問い合わせください。